

# 私がお勧めのアクティブラーニング

大分県立佐伯支援学校 中学部 佐藤京子

学年 ( 中学部 ※合同学習)	教科 ( 生活単元学習 )
単元名等	J Rに乗って佐伯駅に行こう
主 眼	公共の交通機関を利用する時のマナーや注意点、利用の仕方を学び、実際の生活の中に生かすことができる力を高める。
評価基準【観点】	<p>※生徒の発達段階に応じて、一人一人に応じた評価基準を設定。下は例。          &lt;いずれも最終的に行った校外学習での達成度で評価をします&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○切符を購入の手順表を見て、(一人で/教師の言葉かけなどの支援を受けて)切符を購入することができる。</li> <li>○券売機の表示をよく見て適切なボタンを自分で考えて押し、(一人で/教師の言葉かけなどの支援を受けて)切符を購入することができる。</li> <li>○(一人で/教師の言葉かけなどの支援を受けて)財布から必要な金額のお金を出して、切符を購入することができる。※数学を合わせた学習</li> <li>○ホームや電車内で、マナーを守って乗車することができる。</li> </ul>

## 1. アクティブラーニング実践場面 ※この授業の前に、手順カードや写真を使った学習を積み上げています。

①廊下に模擬設定した券売機(外形を段ボールで作成して表示部分にはiPad入れて作成)を置き、表示を見てタッチ。



②模擬設定した駅のホーム。教員が駅員となって構内放送で黄色の線の後ろで待つように呼びかける。



③模擬設定した電車内。前のスクリーンには、実際の電車から見える風景や各駅に着いた放送が映像で流される。



④目的の駅まで着き、廊下に模擬設定した改札口で駅員約の教員に切符を渡す。



## 2. 所感

◎2、3年生の修学旅行につながる学習として初めて行ったが、1年生から3年生までの全ての生徒が、実際の校外学習では落ち着いて公共交通機関を利用することができ、それぞれのめあてを達成することができた。同時に、「できた!」という自己評価を得ている様子(喜んでいる)が多く見られた。

▲毎年積み上げることができるとさらに効果的だが、その年の行事等の関係で次の年は実施できなかった。